

今後、再度感染拡大が起こる可能性がある

県内の感染の現状を把握し
医療への影響を判断するための指標が必要

みやぎアラート

医療提供体制に活用

(病床の拡張・縮小, 宿泊療養施設の整備)

県民に求める行動の参考

- ・みやぎアラートのアラートレベルに応じて病床の拡張・縮小, 宿泊療養施設を整備します。
- ・県民に求める行動は, みやぎアラート以外の要素も加えて決定します。

1

みやぎアラートのアラートレベル決定フロー

県

基本レベルの確認

(新規感染者数, 入院可能病床の占有率による基準)

- ▶ 基本レベルに動きがあったとき, アドバイザーチームの意見聴取

新型コロナウイルス感染症
アドバイザーチーム

検討用指標(別表)

- ・ クラスター, 集団発生状況
- ・ 倍加時間
- ・ 感染経路不明者数
- ・ 重症者数
- ・ 療養者数

県

アラートレベルを判断

2

みやぎアラートの基本指標と対応

基本指標	基本レベル		0	1	2	3	4
	県内発生状況		無し (国内・国外発生あり)	ごく少数	少数	多数	極めて多数
	直近7日間の新規患者発生数		0	1~10人	11~50人	51~100人	101人以上
	レベル切替 検討の目安	拡張する時	—	30%	40%	40%	不問
病床占有率※1		縮小する時	—	10%	15%	20%	不問

※1 病床占有率は、評価時の新型コロナウイルス感染症患者入院受入可能病床数に対する占有率

▶アラートレベルは、基本レベルに加えて別表のアラートレベル検討用指標にあるクラスターまたは集団発生などの情報を踏まえて判断する。

対応	アラートレベル		0	1	2	3	4	
	病床の確保	感染症指定医療機関 (7病院)	指定病床	○	○	○	○	○
		一般医療機関	一般病床	—	—	○	○	○
			確保病床数	29床	29床	50床	51~100床	100床以上
		宿泊療養施設の整備		100室	100室	100室	200室	300室以上
	県民に求める行動※2		新しい生活様式を徹底し感染を予防する					不要不急の外出を控える など
緊急事態措置実施区域該当時		他者との接触を避ける						

※2 県民に求める具体的な行動内容は、近隣県での発生状況、経済状況などを踏まえ総合的に判断する。

3

別表 みやぎアラートのレベル検討用指標

指標		指標から読み取れることの例
クラスター、または集団発生※	発生場所、および発生数	高齢者施設・医療機関での発生による、医療資源圧迫の可能性
	濃厚接触者数	短期間での新規感染者の増加の可能性
倍加時間(感染者数が2倍になるまでに掛かる時間)		感染の拡大、および縮小状況
感染経路不明者数		感染源が特定されないことによる感染者の散発、および検査対象者の増加の可能性
重症者数	人工呼吸器使用数	医療資源の圧迫状況
	ECMO使用数	
宿泊療養施設稼働率		宿泊療養施設の圧迫状況

その他考慮すべき項目：近隣県での感染者発生状況、医療機関の感染防護具の充足状況

※ 高齢者施設、医療機関での発生、または濃厚接触者が多数の場合にはアラートレベルをアップを検討する

4

(参考) 基本指標と基本レベルの関係図

直近7日以内の感染者数からみた病床占有率の切替ポイントのイメージを示しております。

